

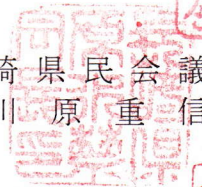
2013年2月13日

朝鮮民主主義人民共和国
国防委員会第一委員長
金正恩 閣下

日本労働組合総連合会長崎県連合会
会長 森 光



原水爆禁止長崎県民会議
会長 川原重信



核兵器禁止平和建設長崎県民会議
議長 松尾敬



北朝鮮の核実験実施に対する抗議

貴国は、昨年12月に実施した事実上の長距離弾道ミサイルに対する国連安全保障理事会の制裁強化決議を非難し、2月12日に「高い水準の核実験」を「成功裏に行った」と発表した。

この報道が事実だとすれば、2006年10月9日と09年5月25日に続く3回目の核実験となる。昨年末の「人工衛星」と称する長距離弾道ミサイルの強行発射と合わせ、この一連の核実験は国際平和と安全に対する重大な挑戦であり、我々はこの核実験に強く抗議する。

核兵器がもたらした悲惨さは、68年前のヒロシマ・ナガサキの惨禍、そして68年経過しても今なお原爆後遺症で苦しみ続けている被爆者の叫びで明らかである。核兵器の開発・保有のための実験は、いかなる理由があろうとも断じて許すことはできない。

私たち「連合長崎・原水禁長崎・長崎核禁会議」の三団体は、世界恒久平和の実現をめざすため、軍縮と、一日も早い核兵器廃絶を願い、核兵器開発につながる一切の核実験、保有に強く反対している。

それは、被爆地ナガサキにおいて、身をもって悲惨な体験をしたが故に、世界の人たちに三度その犠牲を強いてはならないとの強い思いからである。

貴国が、国連安全保障理事会決議の完全なる履行と核兵器廃絶を求める世界中の声に真摯に耳を傾け、核兵器保有につながる実験を今後一切行わないよう強く求める。

以上